

# 行政視察報告書

令和元年 11月25日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 坂本 公明 ⑩ 議員 ⑩  
議員 原田 てつよ ⑩ 議員 ⑩  
議員 ⑩ 議員 ⑩

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

## 記

### 【1】 山形県 天童市議会

住 所	山形県天童市老野森1丁目1番1号
電 話	023-654-1111
視察案件	観光行政について(日本遺産関係)(所管課:生涯学習課、商工観光課)
期 日	令和元年11月19日(火) 9時30分から12時00分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	天童市役所 紅花耕作地と山寺の現地
概 要	* 「山寺と紅花」～山寺が支えて紅花文化～として平成30年度の日本遺産に認定 * 申請者: 山形県 * 構成市町: 山形市、天童市、寒河江市、尾花沢市、山辺町、中山町、江北町(大石田町、白鷹町を令和元年度追加認定とする) * ストーリー概要 ・ 日本有数の「山寺」 ・ 「山寺」と深い関係がある「紅花栽培」「紅花交流」は、甚大な富と文化をこの地にもたらした。 ・ 今に受け継がれる「上方文化」～白壁の蔵座敷～舞楽～ ・ この地を訪れ、芭蕉も目にした当時の隆盛を忍。

\*推進協議会の設立

- ・山形県知事を会長とし、山形県・7市町村・観光関係・農業関係団体・地域代表で設立

\*協議会の取り組み

- ・日本遺産を活用した地域活性化のためのビジョン
  - ① 地域の魅力を国内外に向けて発信
  - ② 地域の文化財の価値の理解と魅力の向上
  - ③ 地域の受け入れ環境整備による利便性の向上
  - ④ 地域の魅力を生かした観光振興
  - ⑤ 食文化の発信、特産品開発による産業振興の5つを柱とする。

・30年度の実績

(1) 情報発信・人材育成

- ①PC・スマートフォン用ポータルサイト開設
- ②テレビ番組の制作、放映及び観光プロモーション映像として活用、公開
- ③多言語パンフレット・ポスターの作成・配布（観光案内所、旅行会社等）
- ④のぼり旗を作成し、県内の公共施設や更生文化財周辺等に設置

(2) 普及啓発

- ①日本遺産の人程度を高めるためのシンポジウムの開催
- ②地域の魅力を再認識するための現地研修の開催
- ③県民を対象にした地域への誇りの醸成
- ④博物館等における企画展の開催

(3) 調査研究

- ①地域歴史文化資源の調査研究
- ②マーケティング調査

(4) 公開活用のための整備

- ①ストーリーの概要や更生文化財に係る案内板の設置
- ②ストーリーの更生文化財に係る開設版の設置
- ③蔵座敷の受け入れ環境整備

「感想」

平成 25 年から山形県として、未来に伝えたい日本の宝として活性を目指していた土壌があり、県が申請者であるところは笠岡市との大きな違いであり、協議会のメンバーとして民間・地域の代表が入っていることは、笠岡市（2市2町）の申請時と2市2町の行政のみの協議会設置との違いが印象的であり、今後協議会のあり方については考えて行きたいと思う。

市民の日本遺産認定に関しての関心は、あまり深まっていないとの事であったが、東京から日本遺産のプロデューサーを呼び、稼げる事業を目標にワークショップの開催も行っている。

観光では、屋台村の世代交代がうまくいっており、若者が、エリアに人を呼び込もうとの思いから、7名で旅行会社を設立しているとの事であった。

添付書類

視察資料 視察状況写真 名刺

# 視察状況写真

山形県 天童市議会関係



【2】 宮城県 多賀城市議会

住 所	宮城県多賀城市中央二丁目1-1
電 話	022-368-1141
視察案件	史跡を活用した観光行政について（日本遺産関係）
期 日	令和元年 11月20日（水） 9時30分 から11時30分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	多賀城市立図書館
概 要	<p>*「政宗が育んだ“伊達”な文化」として平成28年度の日本遺産認定</p> <p>*申請者：宮城県</p> <p>*構成市町：仙台市、塩竈市、多賀城市、松島町</p> <p>*ストーリー概要</p> <p>仙台藩を築いた伊達政宗は、戦国大名として政治・軍事面での活躍は広く知られるところであるが、自らの“都”仙台を創り上げようとした。</p> <p>政宗は、その気概をもって、古代以来東北の地に根付いてきた文化の再興・再生を目指す中で、伊達家で生まれた伝統的な文化を土台に、上方の桃山文化の影響を受けた豪華絢爛、政宗の個性ともいうべき意表を突く粋な斬新さ、さらには海外の文化に触発された国際性、といった時代の息吹をくみ取りながら、これまでにない新しい“伊達”な文化を仙台の地に華開かせていった。</p> <p>そして、その文化は政宗だけに留まらず、時代を重ねるにつれ後の藩主に、さらには仙台から全国へ、そして武士から庶民にまで、様々な方面へ広がり、定着し、熟成をくわえていった。</p> <p>*日本遺産認定後の取り組み事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>*ストーリー紹介パンフレットの作成事業</li> <li>*多言語ウェブサイトを活用した情報発信事業</li> <li>*普及啓発ミニツアー実施事業</li> <li>*伊達な文化シンポジウム開催事業</li> <li>*日本遺産 SNS 部 bb 席調査事業</li> <li>*説明番頭制作・設置事業</li> </ul> </li> <li>・平成29年度（県中心の事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>*「伊達な文化」魅力発信事業</li> <li>*日本遺産ストーリー紹介ガイド養成講座</li> <li>*地域活性化につながる連携事業</li> <li>*普及啓発・情報発信タイアップ事業</li> </ul> </li> <li>・平成30年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>*日本遺産ストーリー紹介ガイド養成事業（前年度ガイドのスキルアップ）</li> <li>*次世代養成事業</li> <li>*伊達な文化ツアー開発事業</li> <li>*「ニッポン宝物プロジェクト」とのタイアップ普及啓発事業</li> </ul> </li> </ul>

	<p>*地域活性化具現化事業</p> <p>*厚生文化遺産説明版設置事業</p> <hr/> <p>「感想」</p> <p>天童市と同様に県が中心となって申請しており、事業も県中心の事業と市中心の事業があり、実行委員会（協議会）も民間団体を入れている事や平成 30 年度の事業では市町単位で、次世代育成事業として日本遺産に絡めた教材を作成しているのは興味深いですが、実行委員会の担当者レベルで温度差があるとの事であったが、笠岡市への提案をしたい。</p> <p>多賀城市へは、19 日 15 時半からの視察予定であったが、天童市からの移動中 JR 仙山線が停電で運行が大幅に遅れ、20 日に変更したにも関わらず気持ちよく受け入れて頂けた。</p> <p>予定変更で、多賀城市立図書館では、ゆっくりと説明を受ける状況にはならなかったが駅のすぐ前と言う立地条件と蔦屋書店スターバックスコーヒーやファミリーマートが同じ建物内にあるという条件は、利用者にとっての利便性は大きいと感じた。</p> <p>駅前のスペースも若者を呼び込むには魅力的なスペースであった。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

宮城県 多賀城市議会関係

